第45期事業報告書

平成15年1月1日 ▶ 平成15年12月31日





経営理念

『さわやかさ創造企業』

近畿コカ・コーラボトリンググループは、

人々のうるおいと豊かさにつながる機会を創造します。

人々の期待感や先進感にこたえます。

人々の健康な生活に貢献します。

ビジョン2006

私たち近畿コカ・コーラボトリンググループは、

1本1本の製品を業界No.1のオペレーションで提供し、 より多くのお客様にさわやかなひとときをお届けします。

お得意様を、お客様満足を実現するパートナーとして 大切にし、共に成長します。

ひとりひとりがお客様満足を常に追求し、 やりがいと誇りをもって自己の役割と目標を完遂します。

日々の健全な企業活動を通じ、毎年、増益を達成します。

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清祥のこととお喜び 申しあげます。

当期の清涼飲料業界は、景気低迷による消費マインドの低下に加え、7、8月の冷夏の影響もあり、販売数量が伸び悩む中、熾烈な企業間競争による価格の低下や、販売チャネルの変化などによる収益低下により、厳しい市場環境となりました。

当社は、こうした状況下、新しいビジョンのもとで、 お客様満足の向上と、より利益を重視する「事業計画」 を推進し、業績の向上と企業価値の創造を目指しました。



今後のわが国の経済情勢は、一部に持ち直しの動きが見られるものの、急速な景気の回復は期待できない状況にあると思われます。清涼飲料業界におきましても、こうした経済情勢を背景に、引き続き厳しい経営環境が続くものと予測されます。

当社におきましては、これまで経営を圧迫してきた年金問題の解決を見ましたが、「中期経営計画」の達成に向けて、更なる構造改革と販売力を強化するとともに、コカ・コーラシステムにおけるサプライチェーンマネジメント(SCM)をはじめとするシステム内各社との協働を推進する一方、当社グループ全社を挙げて、お客様の期待に応え、お客様満足の向上に取り組むことにより、業績の向上と企業価値の創造に努めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますよう心からお願い申しあげます。

平成16年3月

取締役社長 宁都正和

販売面におきましては、営業組織を販売 チャネルに則して4部門に再編し、選択と 集中による明確な部門戦略を推進すること により、販売力の強化を図り、利益重視政 策を推進しました。また、「No Reason Coca-Cola」キャンペーンやジョージア新キャンペ ーン「気分は、ジョージア」などを展開した ほか、コカ・コーラにニューロゴマークを 導入するなど、ブランドカの強化を図りま した。さらに、新製品として、「まろ茶120」 「ボコ」「ジョージアロイヤルブレンド」など を発売し、販売の拡大に努めるとともに、 商品のフレッシュネスに注力しました。加 えて、7月には、コカ・コーラシステム内 各社と共に、ファウンテンナショナルチェ ーンの商流代行を行う任意組合「コカ・コー ラカスタマーセールス」を設立しました。

製品の需給面におきましては、ボトラー の枠を越えて、全国規模での最適なサプラ イチェーンマネジメント(SCM)を構築すべ く、4月に共同設立した「コカ・コーラナシ ョナルビバレッジ株式会社」が、10月から事





Shop NO REASON



サマープロモーション Enjoy SUMMER 2003

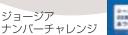
業を開始しました。また、6月には、西日本ボトラー5社の共同出資によるミネラルウォーター製造会社「大山ビバレッジ株式会社」が生産を開始しました。

一方、経営環境の変化に伴う構造改革につきましては、引き続き当社グループ全体で推進し、安定的、継続的な収益を確保できる事業構造の構築を目指しました。4月には、当社およびグループ会社の経営基盤の強化を図るため、グループ会社への出向者65名の転籍を実施しました。また、経営

参加している「三笠コカ・コーラボトリング 株式会社」との戦略協調を推進し、同社滋賀 工場の製造業務および一部地域の自動販売 機オペレーション業務を、3月以降順次受 託し、当社グループと一体化した運営を行 いました。7月には、ローコストプロデュ ースに向けて、当社コーヒー焙煎工場の製 造業務を100%子会社「近畿コカ・コーラプ ロダクツ株式会社」に委託しました。



GEORGIA (気分は、ジョージア。)







コカ・コーラナショナル ビバレッジ株式会社が事業を開始



写真:2003年9月18日東京での記者発表会 (日本コカ・コーラおよび全国ボトラー社代表者・左から5番目が当社守都社長)

調達・製造・物流に至る全国規模のサプライチェーンマネジメント (SCM)を構築すべく、ザコカ・コーラエクスポートコーポレーションと全国ボトラーが参画して設立されたコカ・コーラナショナルビバレッジ株式会社 (CCNBC)が、2003年10月1日より事業を開始いたしました。CCNBCは、市場環境の変化に迅速に対応し、お得意様とお客様の満足度の向上を図ることで、日本のコカ・コーラグループの長期的な競争力の強化を推進します。

阪神タイガースの 応援プロモーションを実施

18年ぶりに優勝の阪神タイガースの地元ボトラーとして、コカ・コーラとアクエリアスの優勝記念缶の発売や、スーパーなどで応援プロモーションを実施し、ファンの方々と一緒に関西を盛り上げました。



タイガースの応援グッズが当たる 「阪神タイガース応援プロモーション」を展開





●2004年ブランドキャンペーン ////





■2004年新広告キャンペーン

Special Magic Coca-Colaを共通のコンセプト/キーメッセージとして、コカ・コーラ、ダイエットコカ・コーラ、それぞれのTVCMを同一の広告キャンペーンにて展開するという新しい試みに挑戦します。





爽健美茶 ■2004年

新広告キャンペーン

"カラダを内側からキレイにしてくれる、素材の恵みのブレンド茶"。さらに爽やかに、新しくなったパッケージデザインで登場。

So Beautiful. 爽健美茶

キレイ訴求

ブレンド訴求



伊藤美樹さん/透明感のある美しさが魅力の2004年 キャンペーンモデルです。



アクエリアス

さらにパワーアップした 「アクエリアス」



新フォーミュラ

- ・最適なカラダの潤いを考えた 「水分補給」
- ・「5つのカラダ栄養成分」
- ・カロリーオフ

新コミュニケーション

TVCMでは、日常の中で 思わずカラダを動かした くなるような気分を描き、 ハードスポーツに限定し ないコミュニケーション 活動を展開します。







アルコール分0.1%未満の 爽快ビールテイスト登場!

コカ・コーラ社独自の製法による、 爽快でキレのある味。



スカイモルト

350ml缶

限りなく0に近い、アルコール分0.1%未満 のビールテイスト飲料。麦芽(モルト)の旨 みと軽く爽快な飲み口で、清涼飲料水のよ うに気軽に楽しめます。



アルコール分0.1%未満の爽快チュー ハイテイスト。

フルーティーで、嬉しいカロリーオフ。



爽果発泡 レモン、ウメ

350ml缶

果汁にイタリア産レモン、 国産ウメをそれぞれ100 %使用したアルコール分 0.1%未満のチューハイテ イスト飲料。カロリーオフ を実現し、健康にも配慮 しています。





睡眠中に失われる水分と、健康維持 の成分補給。朝夜いたわり飲料。

TADAS (タダス) 300mlボトル缶、500mlペット、2Lペット 疲労回復を、1日の初めと終わり=「朝」と「夜」に サポートする新しいコンセプトの機能性飲料です。









花粉の季節に、

一日一本の飲用で喉、鼻、 気持ちもすっきりさわや かサポート!



350mlペット

ペパーミント抽出物 (ミントポリフェノール) 300mgを配合した紅茶飲料。 花粉の季節に1日あたり1本の飲用で、喉、鼻、

気持ちもすっきりさわやかサポート!



自然を感じる、おいしい新朝食 モーニングデリ。

果実とヨーグルトの自然のおいし さに、栄養機能をプラス。



モーニングデリ 朝バナナ、朝リンゴ 180gパウチ

果実&ヨーグルト風味の 自然な味わいと食事の代 わりとなる腹持ちのよさ で、健やかな気持ちでお なかを満たすことができ ます。美味しさを実現し ながら、朝食に必要とさ れる栄養パランスを実現 しています。



資生堂との共同開発 ブランド。グレープフ ルーツの香りを研究 したダイエットウォー ター。

アロマワークス ボディスタイル ウォーター



化粧品メーカーの資生堂とコラボレーションした 共同開発ブランド。

Carrie

/M/EDO

グレープフルーツの香りのダイエットウォーターで、カロリーをゼロにしました。後味もすっきりです。



GEORGIA GEORGIA THE SPECIAL SHEET STATES GEORGIA THE SPECIAL SHEET SHEET SHEET SHEET STATES GEORGIA THE SPECIAL SHEET S

ジョージア「気分は、ジョージア。」

ジョージアのTVCM出演タレントが掲載されたグラフィックが 特徴の期間限定缶コーヒー。 適度な甘さとコーヒー感ですっきりと飲みやすい味わいです。

ダイエット コカ・コーラレモン

500mlボトル缶、1.5Lペット カロリーゼロのダイエットコカ・コーラ レモンが、さらにおいしくなって洗練されたグラフィックで新登場です。





ファンタ青りんご

500mlペット、1.5Lペット みずみずしい青リンゴのすっきりとし た甘味と、さわやかな香りを楽しめる フレーバーです。

すべての活動において、 お客様の満足をめざして!



『ビジョン2006』を実現するために、常にお客様の視点にたち、近畿コカ・コーラボトリンググループが一体となり「お客様満足活動」を推進する風土と体制を構築し、お客様からの「生の声」を集約、分析し、経営や事業に反映させることによって経営の好循環を図ります。

◆お客様から見た企業価値の向上◆

お客様との双方向コミュニケー ションシステムの確立

工場のコカ・コーラ文化の情報発信拠点化、 エリアイベントへの積極的取り組みを行い ます。

お得意様をパートナーとしてお客様満足を向上する営業スタイルの刷新

お客様からいただいた情報をマーケティング 活動に活用し、お客様のご要望やご指摘を反 映した営業活動を行います。

エリア内でのダイレクトコミュニケーションの実施

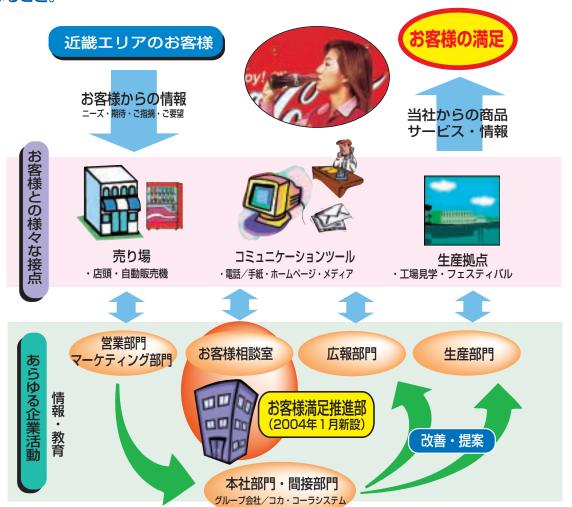
お客様とダイレクトにコミュニケーションを 図る仕組みを強化します。ホームページはリ ニューアルを進めるとともにエリアに特化し た内容を増やします。

お客様から信頼される品質保証・ 品質管理体制の確立

商品在庫の管理を徹底し商品のフレッシュネスを図る等、常に最終消費者であるお客様を 意識した営業活動を実施します。

エリアファンづくりの全体像

グループ社員ひとりひとりが、それぞれの業務および生活の中で自発的にお客様満足を実現し、近畿コカ・コーラボトリンググループがテリトリー内で最も身近な飲料会社となること。





連結貸借対照表

(単位:百万円)

科	期目	別	当 期 (平成15年12月31日現在)	前 期 (平成14年12月31日現在)	増	減	期 科 目	別	当 期 (平成15年12月31日現在)	前 期 (平成14年12月31日現在)	増	減
	□ 動 資	産	34,819	33,148		1,671	流動負	債	27,836	26,338	1,	497
現金	及び	預金	7,122	8,436	Δ	1,313	支払手形及び買	掛金	8,495	7,622		873
受取手	手形及び	売掛金	12,047	11,116		930	短期借入	、金	5,000	273	4,	727
有	価 証	券	_	1,599	Δ	1,599	一年以内に償還の転	換社債	_	8,167	△ 8,	167
たな	3 卸 1	資 産	8,180	7,858		322	一年以内に返済の長期	借入金	5,175	1,884	3,	291
そ	の	他	7,469	4,137		3,331	未 払	金	4,036	3,266	,	770
固	定資	産	86,579	86,369		210	未払法人私	总等	303	450		146
有形	固定	資産	64,625	66,583	Δ	1,957	その	他	4,824	4,676		148
建物	物及び構	築物	15,073	15,993	Δ	920	固定負	債	20,567	10,245	10,	321
機械	装置及び	運搬具	10,066	11,849	Δ	1,782	長期借入	、金	14,536	2,983	11,	552
販	売 機	* 器	13,436	13,077		359	退職給付引	当金	723	5,394	△ 4,	670
土		地	20,189	20,378	Δ	188	その	他	5,308	1,867	3,	440
そ	の	他	5,859	5,284		574	負 債 合	計	48,403	36,584	11,	819
無形	固定	資産	3,385	5,054	Δ	1,669	少数株主持	寺分	64	55		8
投資	その他の)資産	18,568	14,731		3,836	資 本	金	_	10,948	△ 10,	948
投資	資有価	証券	6,744	5,975		769	資本準備	金	_	10,040	△ 10,	040
長	期貸	付 金	905	796		108	連結剰余		_	61,954	△ 61,	954
そ	の	他	10,918	7,959		2,959	その他有価証券評価	差額金	_	△ 41		41
							自己株	式	_	△ 23		23
							資本合	計	_	82,877	△ 82,	877
							資 本	金	10,948	_	10,	948
							資本剰余		10,040	_	10,	040
							利益剰余		51,792	_	51,	792
							その他有価証券評価	差額金	179	_		179
							自己株	式	△ 29	_	Δ	29
							資 本 合	計	72,931	_	72,	931
資	産 合	計	121,399	119,517		1,881	負債・少数株主持分及び資	体合計	121,399	119,517	1,	881

(注)

1. 有形固定資産の減価償却累計額

2. 保証債務

(平成15年12月31日現在) (平成14年12月31日現在)

100,705百万円 100,951百万円

299百万円

307百万円

3. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

連結損益計算書

(単位:百万円)

連結剰余金計算書

(単位:百万円)

期別科目	当 期 (平成15年1月1日から) 平成15年12月31日まで)	前 期 (平成14年1月1日から) 平成14年12月31日まで)	増 減
売 上 高	182,862	183,349	△ 487
売 上 原 価	98,851	97,577	1,274
売 上 総 利 益	84,010	85,772	△ 1,762
販売費及び一般管理費	78,024	80,303	△ 2,279
営 業 利 益	5,986	5,469	517
営 業 外 収 益	373	576	△ 203
営 業 外 費 用	1,036	570	466
経 常 利 益	5,323	5,475	△ 152
特 別 利 益	295	1,812	△ 1,517
特 別 損 失	20,579	7,218	13,360
税金等調整前当期純利益 又は当期純損失(△)	△ 14,961	69	△ 15,030
法人税、住民税及び事業税	469	751	△ 281
法人税等調整額	△ 6,510	△ 861	△ 5,649
少数株主利益	(-) 14	(-) 18	3
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 8,934	161	△ 9,096

		\+	
期別科目	当期 (平成15年1月1日から) 平成15年12月31日まで)	前 期 (平成14年1月1日から 平成14年12月31日まで)	増 減
連結剰余金期首残高	_	63,070	△ 63,070
連結剰余金減少高	_	1,277	△ 1,277
配 当 金	_	1,126	△ 1,126
役員賞与	_	150	△ 150
当期純利益	_	161	△ 161
連結剰余金期末残高		61,954	△ 61,954
(資本剰余金の部)			
資本剰余金期首残高	10,040	_	10,040
資本剰余金期末残高	10,040	_	10,040
(利益剰余金の部)			
利益剰余金期首残高	61,954	_	61,954
利益剰余金減少高	10,161	_	10,161
当期純損失	8,934	_	8,934
配 当 金	1,126	_	1,126
役員賞与	101	_	101
利益剰余金期末残高	51,792	_	51,792

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

期別科目	当期 (平成15年1月1日から) 平成15年12月31日まで)	前期 (平成14年1月1日から) 平成14年12月31日まで)	増減(△は減)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,331	16,176	△ 14,845
Ⅱ. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 14,501	△ 20,055	5,553
Ⅲ.財務活動によるキャッシュ・フロー	10,267	△ 1,478	11,745
Ⅳ. 現金及び現金同等物の減少額	△ 2,903	△ 5,357	2,453
V. 現金及び現金同等物の期首残高	9,986	15,343	△ 5,357
Ⅵ. 現金及び現金同等物の期末残高	7,082	9,986	△ 2,903

(注) 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	(平成15年12月31日現在)	(平成14年12月31日現在)	増 減
現金及び預金	7,122百万円	8,436百万円	△ 1,313百万円
有 価 証 券	—百万円	1,599百万円	△ 1,599百万円
計	7,122百万円	10,036百万円	△ 2,913百万円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△ 40百万円	△ 50百万円	10百万円
現金及び現金同等物	7,082百万円	9,986百万円	△ 2,903百万円



貸借対照表

(単位:百万円)

科	目	期	別	当期 (平成15年12月31日現在)	前 期 (平成14年12月31日現在)	増	減	科		_	期	別	当 期 (平成15年12月31日現在)	前 (平成14	期 年12月31日現在)	増	減
流	動	資	産	31,206	29,999		1,206	流	動) 1	負	債	23,298		20,591		2,706
現:	金及	び預	金	5,466	6,263	Δ	796	買		掛		金	4,650		4,243		406
受取	手形	及び売	掛金	10,631	10,452		179	短	期	借	入	金	5,000		_		5,000
有	価	証	券	_	1,599	Δ	1,599	一年	以内に	僧還(の転換	社債	_		8,167	Δ	8,167
た	な:	卸資	産	7,118	6,871		247	一年月	外に	返済の	長期借	入全	3,328		_		3,328
そ		カ	他	7,989	4,813		3,175	未		払		金	3,498		2,707		791
固	定	資	産	78,410	77,569		840	未	払え	去人	、税	等	15		211	Δ	195
有	形固	定資	産	52,806	54,609	Δ	1,802	そ		の		他	6,804		5,261		1,543
建			物	11,731	12,333	Δ	601	固	定			債	15,329		6,032		9,296
機	続し	及び装	置	8,127	9,774	Δ	1,647		期				10,672		_		10,672
販		機	器	13,207	12,815		392		職給		引当	金	171		4,943	Δ	4,771
±			地	17,454	17,618	Δ	164	そ		の		他	4,485		1,089		3,395
そ		の	他	2,286	2,067		218	負	債		<u>合</u>	計	38,627		26,624		12,003
		定資		2,620	2,171		449	資		本		金	_		10,948		10,948
)他の		22,982	20,788		2,194		定				_		11,658		11,658
		有価証		2,594	1,334		1,260		の他				_		58,403		58,403
		会社核		6,310	7,826	Δ	1,515	₹ <i>0</i>	他有価				_		41		41
		貸付		4,775	5,118	Δ	342	自	2			式	_	Δ	23		23
7		の	他	9,301	6,508		2,792	資	本		合	計	_		80,944	Δ	80,944
								資		本		金	10,948		_		10,948
									本				10,040		_		10,040
									益				49,867		_		49,867
									他有価				163		_		163
								自		, †	朱	式	△ 29		_	Δ	29
								資	本	1	合	計	70,989		_		70,989
資(32)	産	合	計	109,616	107,569		2,047		債・				109,616	1	107,569		2,047

(注)

(平成15年12月31日現在) (平成14年12月31日現在)

1. 有形固定資産の減価償却累計額

85.877百万円

2. 保証債務

86,203百万円 31百万円 39百万円

3. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

損益計算書

(単位	五下	ШΙ
(里)	ロル	m

期別科目	当期 (平成15年1月1日から) 平成15年12月31日まで)	前 期 (平成14年1月1日から 平成14年12月31日まで)	増 減
売 上 高	162,275	162,196	79
売 上 原 価	91,817	89,885	1,931
売 上 総 利 益	70,458	72,310	△ 1,851
販売費及び一般管理費	66,331	68,197	△ 1,865
営 業 利 益	4,126	4,113	13
営業外収益	1,064	693	371
営 業 外 費 用	459	444	15
経 常 利 益	4,730	4,362	368
特 別 利 益	283	2,268	△ 1,984
特 別 損 失	20,431	7,166	13,265
税引前当期純損失(△)	△15,417	△ 536	△14,881
法人税、住民税及び事業税	30	329	△ 299
法人税等調整額	△ 6,469	△ 491	△ 5,978
当期純損失(△)	△ 8,977	△ 373	△ 8,603
前期繰越利益	1,316	1,293	22
中間配当額	563	563	△ 0
当期未処分利益又は 当期未処理損失(△)	△ 8,224	356	△ 8,581

利益処分

(単位:百万円)

期別科目	当期 (平成15年1月1日から) 平成15年12月31日まで)	前 期 (平成14年1月1日から) 平成14年12月31日まで)	増	減
当期未処分利益又は当期未処理損失(△)	△ 8,224	356	Δ	8,581
任意積立金取崩額	10,157	2,347		7,810
固定資産圧縮特別勘定積立金取崩額	223	347	Δ	123
固定資産圧縮積立金取崩額	434	_		434
別途積立金取崩額	9,500	2,000		7,500
슴 計	1,933	2,704	Δ	770
利益処分額	599	1,388	Δ	788
配 当 金	562	563	Δ	0
役員賞与金	36	51	Δ	14
(うち監査役分)	(3)	(4)	(△	1)
固定資産圧縮特別勘定積立金	_	223	Δ	223
固定資産圧縮積立金	_	550		550
次期繰越利益	1,334	1,316		18

配当金

期末配当金は1株につき9円とし、中間配当金と合わせて年18円配当としました。なお、本年におきましても、1株につき年18円(中間9円)配当を予定しています。

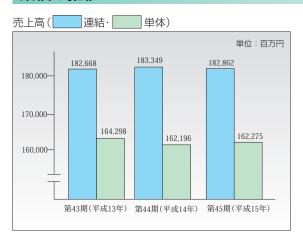


近畿コカ・コーラボトリンググループは、近畿 コカ・コーラを中核として連結子会社10社、持 分法適用会社2社によって構成されています。 当期の連結売上高は、1.828億6千2百万円(前 期比0.3%減)となりました。

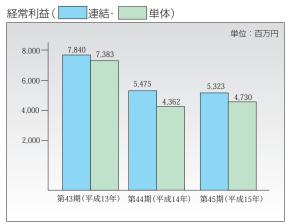
連結経常利益は53億2千3百万円(前期比2.8% 減)、連結当期純損失は、特別損失として厚生 年金基金解散損等を計上した結果、89億3千4 百万円となりました。

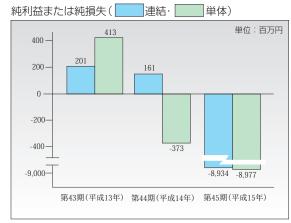
持分法適用会社2社 (三笠コカ・コーラボトリング株式会社) (大山ビバレッジサービス株式会社)

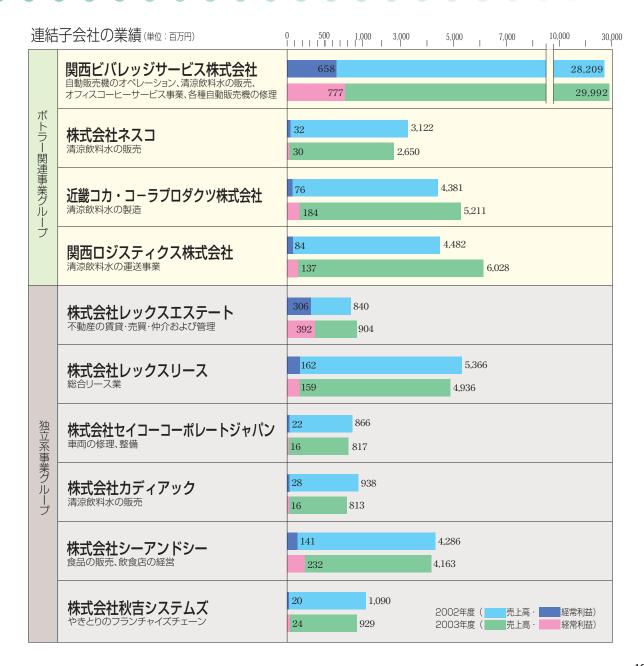
業績の推移









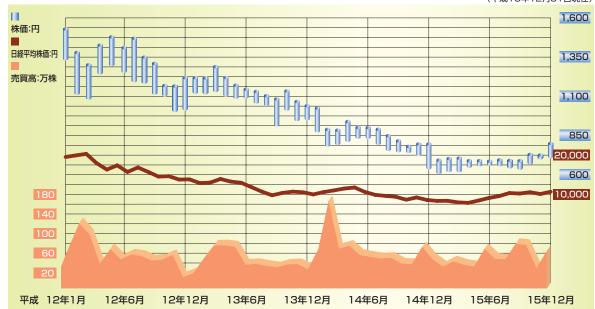




株価・日経平均株価・売買高の推移

(株価:大阪証券取引所 売買高:大阪証券取引所・東京証券取引所立会内取引合計)

(平成15年12月31日現在)



株式の総数・株主数

■会社が発行する株式の総数 ----- 150,000,000株

■発行済株式総数 - - - - 62,591,049株

■株主数 ----- 5.612名

	株 主 名	持株数(千株)	議決権比率(%)
	麒麟麦酒株式会社	25,779	41.44
	三菱重工業株式会社	8,674	13.94
大	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社信託口	3,005	4.83
	近畿コカ・コーラボトリング社員持株会	1,807	2.90
株	日本マスタートラスト信託銀行株式会社信託口	1,584	2.55
主	神大和株式会社	1,050	1.69
工	ビービーエイチメリルリンチグローバルアロケーションファンド	691	1.11
	株式会社弥谷	675	1.08
	エスエヌエフイーマックジャパンアクティブシェアホルダーファンドエルピー	595	0.96
	野村證券株式会社	359	0.58

会社の概況

(平成15年12月31日現在)

- 1.商 号 近畿コカ・コーラ ボトリング株式会社 KINKI COCA-COLA BOTTLING CO., LTD.
- 2.設 立 昭和35年9月9日
- 3.本店所在地 大阪府摂津市千里丘7丁目9番31号 電話(06)6330-2222(代表)
- 4.資 本 金 10.948.108,301円
- 5.主要な事業内容 大阪府、兵庫県および京都府を販売地域として、清涼飲料の製造および販売を主な事業内容としております。
- 6. 従業員数 1.547名(出向者562名を含みます。)

7. 事業所

	大阪府	兵庫県	京都府
工場	_	明石工場	京都工場・コーヒー焙煎工場
支店	レギュラーサー ビス千里丘支店 ほか22支店	レギュラーサー ビス尼崎支店 ほか14支店	レギュラーサー ビス洛南支店 ほか 7 支店

(注)各工場の製造業務は、当社の100%子会社近畿コカ・コーラプログクツ株式会社に委託しております。

	役	員	(平成16年3月30日現在)	
取締役社長(代表取締役) 守 都 正 常務取締役 秀 平 侈 常務取締役 宮 崎 常務取締役 吉 松 臣 常務取締役 太 田 茂 取締役	三度分 是克		············野 口 ························	夫中稔弘
取締役神田 取締役吉永豊 取締役	博二郎	常勤監查役 常勤監查役 監查役(非常勤)	網塚忠	優夫

■株主メモ

決 算 期 12月31日

3月

株主確定基準日

定時株主総会、利益配当金
 1 2 月 3 1 日

中間配当金 6月30日 定時株主総会

名義書換代理人

〒100-8212東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社

同事務取扱場所

〒100-8212東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 電話照会先 〒171-8508東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱信託銀行株式会社

証券代行部 電話0120-707-696 (フリーダイヤル) 三菱信託銀行株式会社 全国各支店

同 取 次 所 1単元の株式の数 公告掲載新聞

1.000株 日本経済新聞

月中旬に贈呈いたします。

決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書

株 主 優 待

の開示は、当社ホームページに掲載しております。 毎年12月31日現在の1,000株以上ご所有の 株主さまに対し、3,300円相当の当社製品を4

お知らせ

1. 住所変更、配当金振込指定·変更、単元未満 株式買取請求に必要な各用紙、および株式の相続 手続依頼書のご請求は、名義書換代理人のフリー ダイヤル0120-86-4490 (自動音声応答) で24時間承っ ておりますので、ご利用ください。

2. 平成15年4月1日施行の商法改正により「株 券失効制度 | が導入され、株券を喪失された場 合の手続きが、従来の公示催告・除権判決に基づ く再発行手続きより簡便となりました。詳細は名 義書換代理人にご照会ください。

証券 コード 2576

●最新の情報はこちらでごらんいただけます。 ホームページアドレス

http://www.kinki.ccbc.co.ip

決算公告:アドレス

http://www.kinki.ccbc.co.ip/ir/kessan.html

